

ものがたりシート

自分のものがたりをさいしゅからさいしゅまで書かまじょう。

タイトル ウギのこまりごと

丸橋あまね

作

むかしむかし、うさぎと木林にウギといううさぎがすんでいました。ウギはとてもものしりなうさぎでした。ある日ウギはのどがかおいたので水のみ場へへ行きました。ところが水が一つもありません。

「どういふことだろう。きのうはし、かりでたのに。ウギは友だちのおこるルルにそうたんしてみました。

「みずうみに行ってみたら？そこなら水がたぶりたまってるわ。ルルにあんないさねたみずうみに行くとそこにはおにかいました。

「へ長べられちゃう！べつのはしをさがしましゅう！ルルに言われま二人は

手をつないではしりだしました。おはここまぐれは、たいじょうぶかなあ。二人は、いつもいっしょにあるので「ぼくよけいのかあいい。」「あたしものとかあいい。」「つぎは海にしてみよう。ぼくあそこのサメさんとなかがいいんだ。」二人は海へあるきだしました。ところが……

「あれ？なにかいない？」ウギがゆびをさしたさきには……。「あれはへびよ。いげないとかまれちゃうわー！」「ちがうみちからいこう！二人はちがうみちからうみへいきました。」「ここはただけとサメさんいないな。」

「うみのおく、ふかくにいる
んじゃないのかしら？ おい
サメさん、フッコのうみのみが
のませてくれたサー、サー」
ルルのさけびが、グズととも
にでてきたのは、サメさん！
ではなく……「シャチ！」ギザお
う、にげろー！」「ふたり
はにげきれたものの、ま
いごになっちゃいました。
「フッコどこたろ？」サメさん
に「ぼくでもしらないや……」
あるいていくと、とつせん
ひらいたばしょにでました。
「なにフッコ……。きれにだし
水がたくさんあるお！」フッコ
はギザらギザらとひかっついて
「うぶ」つたちもたくさん
います。フッコはたしか……で
んせいの水のみ場だー！
二人はようやく水をのめた
のでした。めでたしめでたし。